

平成 2 6 年度 後期選抜の選抜・評価方法

学校番号 5 2

千葉県立松戸向陽高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 学力検査	県下一斉に同一条件で行う学力検査 5 教科の得点の合計
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書の記載事項
(3) 面接	学力検査後の面接の結果

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5 教科の得点合計	5 教科の得点（各教科 1 0 0 点満点）の合計により評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	①全教科の評定の合計値を算式 1 により求めた値で評価する。 ②評定 1 のある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	① 3 年間皆勤の場合は評価する。 ②年間の欠席が 1 5 日以上または 3 年間の合計が 3 0 日以上の場合 は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○の数で評価する。○の数が 1 つ以下の場合、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、 部活動の記録及び 特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、資格、ボランティア活動、その他の活動で、特に積極的に取り組んだと認められる記述について評価する。
オ 総合所見	特に優れた内容について評価する。

(3) 面接検査

評価項目	評価基準
面接	面接官 3 名で 5 名程度の受検者に集団面接を実施し、次のア～オの観点から評価する。 ア 志望動機が明確かつ具体的に述べられており、その内容も適切である。 イ 入学後の抱負が明確かつ具体的で、強い活動意欲がみられる。 ウ 将来の進路目標が具体的に述べられている。 エ 応答内容から、本校の期待する生徒像に定める要件を十分に具備している。

	期待する生徒像 中学校生活全般にわたり真面目な取組をし，次のア及びイの要件を具備する者 ア 向学心をもち，積極的に学習活動を行うこと。 イ 次の a 又は b に該当すること。 a 入学後の部活動，委員会活動，ボランティア活動等に意欲的に取り組む強い意志があること。 b ボランティア活動や福祉に対する興味・関心があり，資格取得等に関心が高いこと。 オ 身だしなみが整っており，面接態度が優れている。
--	---

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

公立高等学校入学者選抜実施要項に従い，A 組となる者は入学許可候補者とする。A 組とならない者は B 組とし，すべて審議の対象とする。算式 2 で求めた数値と「学力検査の成績」「調査書」「面接の結果」を資料として総合的に判定する。

(2) その他

- ア 自己申告書が提出された場合は，選抜のための資料に加え，提出されたことにより，不利益な取り扱いをすることがないように十分留意する。
- イ 入学許可候補者のうち，隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による候補者数が，細部協定書の範囲内であることを確認する。
- ウ 過年度生については，個人面談を行い，話を聞く機会を設ける。